

聖学院大学研究校正委員会 主催
 聖学院大学総合研究所 競争的資金獲得・コンプライアンス促進のための研究会 共催
 公正な研究活動の推進におけるコンプライアンス教育研修会
 「公的研究費の適切な使用について」報告



講師：中安 豪 氏

2021年2月10日に、講師にロバスト・ジャパン株式会社代表取締役の中安豪氏を招致し、2020年度「公正な研究活動の推進におけるコンプライアンス教育」研修会をオンラインで開催した。この研修会は、文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）の平成26年2月18日付改正に伴い、各機関における不正防止のためコンプライアンス教育の実施が義務付けられたことを受けて実施した。参加者は97名であった。

研修の主な内容は下記のとおりである。

1. 研究活動におけるコンプライアンス

コンプライアンスとは、単に法令を遵守することだけではなく、大学や学会の内部規定や第三者との契約の順守、社会的規範や社会通念等、一般的な倫理も守ることである。法令に違反していないから問題ないというわけではない。関係する法令としては、研究成果・研究体制、学生指導・教育環境だけではなく、国際協調、安全保障、社会的要請に関するものまで含まれる。

コンプライアンスの具体的な事項としては、①研究費の不正使用・不正受給の防止、②研究不正（捏造・改ざん・盗用）の防止、③倫理規範の遵守（医療倫理・オーサーシップ）、④適切な研究計画とデータ管理、⑤インフォームドコンセントの遵守、⑥研究倫理審査への対応（ヒトに関わる研究・臨床

研究）、⑦社会との接続における配慮（利益相反・知的財産権・オープンサイエンス）、⑧個人情報の保護、⑨適切な学生指導、⑩各種ハラスメントへの防止、⑪組織としての不正防止対策などがある。

問題が発生すると、是正勧告、損害賠償請求、告訴・起訴などが、研究者個人だけではなく大学に対しても行われることになる。

2. 競争的資金の不正使用と不正受給

不正使用とは、故意もしくは重大な過失によって競争的資金を他の用途へ流用すること及び、競争的資金の決定の内容や条件に違反した使用をすることである。不正受給とは、別の研究者の名義で応募、応募書類への虚偽記載を行うなど、不正な手段により受給することである。不正を行うと、①競争的資金の全部または一部の返還を求められることがあり、②不正に関する概要が原則公表され、③不正の程度により、競争的資金の交付制限期間が1年～10年の間で設定される。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、研究に多種多様な支障が発生したことに関して、科研費手続き対応が一部柔軟になった。

3. 研究活動における特定不正行為

特定不正行為とは故意または、研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる投稿論文など、発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造・改ざん及び盗用である。捏造とは、存在しないデータや、研究結果等を作成することであり、仮説に沿ったデータが取得できる恣意的な手法の選択も含む。改ざんとは、研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データや研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工することである。盗用とは、他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用することであ

る。不正行為に対するペナルティーは応募資格制限から、1～10年の競争的研究資金の交付制限に変更された。

一方で、適切なデータ管理が求められ、オープンサイエンスの推進の一環として、データマネジメントプランの提出を要求する例が増加している。

人を対象とする研究に関しては倫理的な対応が求められる。研究対象者との良好な関係構築のため、研究対象者が、他人や学術の利益のために被るリスクや負担など、これらの不利益について事前に整理し、正しく伝達する必要がある。

最後に、まとめとして、①コンプライアンスの要は適切な計画、②コンプライアンスはお金の配慮だけではないこと、③研究資金の利用は独断せず相談と手続きを行うこと、④研究不正は故意よりも無知とミスが要因、⑤不正事案は致命傷になること、⑥不正予防は研究者の安全のためであることが強調された。

講演後に、コロナ禍における被雇用者の管理、博士論文の本が自己盗用に該当するのか、データの公開に関して注意すべきこと、研究倫理の遵守がもたらす負の側面に関する議論の有無、オンライン・インタビュー調査の同意書のやり取りなどに関する質問が出された。

(文責：平 修久 [たいら・のぶひさ] 聖学院大学競争的資金・コンプライアンス促進のための研究会代表、同大学副学長、政治経済学部政治経済学科教授)

本

書籍のご案内

お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。

新刊

近代日本のキリスト者

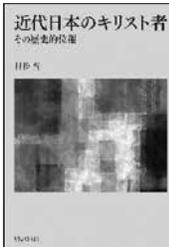
—その歴史の位相

村松 晋 著

2020年12月25日発行

4,950円 (10%税込)

近代日本におけるキリスト者の信仰・思想を、時代社会をふまえ内在的に明らかにする。



聖学院大学研究叢書9

近代日本精神史の位相

—キリスト教をめぐる思索と経験

村松 晋 著

2014年3月31日発行

7,480円 (10%税込)

近代日本の思想家のキリスト教をめぐる「論理」を、そこに通底する世界に焦点を当てて論じる。



近代日本キリスト者との対話

—その信の世界を探る

鵜沼裕子 著

2017年9月28日発行

3,300円 (10%税込)

信仰主体の信仰と思想・行動の内的構造連関を共感的に再把握する。



史料による日本キリスト教史

鵜沼裕子 著

2018年2月1日 (2版5刷) 発行

1,980円 (10%税込)

「歴史篇」と、手に入りにくい原史料から日本のキリスト教を読み解く「史料篇」からなる。



聖学院大学出版会 TEL:048-725-9801 FAX:048-725-0324
URL:https://www.seigpress.jp